

News

Vol. 20

2023 / December

ご自由にお持ちください

Contents

2 事業管理者挨拶

阿蘇市病院事業管理者

阿蘇医療センター 院長 甲斐 豊

3 新任医師の紹介

常勤医師3名、非常勤医師4名が新たに着任致しました

4 診療体制

2023年12月からの診療体制

5-8 熊本県指定がん診療連携拠点病院として

- ・がん相談支援センター
- ・在宅医療サポートセンター
- ・栄養管理室
- ・歯科口腔外科における専門的口腔ケア
- ・外来・病棟看護師（緩和ケアチーム）
- ・薬剤部
- ・リハビリテーション室

7 各部門における取組み

- ・認知症に関する取組み ～脳活カフェを始めました！～
- ・在宅医療サポートセンターの取組み

8 出前講座 お知らせ



事業管理者挨拶

阿蘇市病院事業管理者
阿蘇医療センター 院長

甲 斐 豊



開放された社会環境においても 新型コロナのみならず感染症への警戒感を

新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）は、令和5年5月8日から5類感染症に位置づけられました。これをふまえて、その後の医療提供体制の移行計画の策定・取組について、熊本県から医療機関に係るの通知が発出されています。

今後、第8次医療計画（6事業目：新興感染症対応）における数値目標に沿って、流行時期に応じた病床確保や発熱外来の設置等に関して協定締結作業が進められることと思います。

ただ、5類移行後においても、特に九州各県は新型コロナの感染者は増加傾向にあります。当院では、8月上旬に承認感染病床数の4床は満床になり、1日10人前後の陽性患者（多くは高齢者）を受け入れ、発熱外来では1日当り10人程度が来院し、うち6～7割に陽性者を確認しています。また職員にも感染者が断続的に発生しています。

今夏は、祭りやスポーツなど様々なイベントが新型コロナ前の形式で開催されるようになり、当地への県外からの観光客も増加し賑わいが戻ってきました。反面、医療現場は従前と変わりなく一般医療と併行して、入院患者受入れ・発熱外来・

ワクチン接種などの対応に追われているのが現状です。軽症・無症状を含めた感染者の合併症・後遺症を含め他の感染症も発生しつつあります。開放された社会環境においても、新型コロナのみならず感染症への警戒感を一定程度は保つことが必要と思います。

医療政策面の主な課題として、医師の働き方改革／医療のデジタル化／第8次医療計画（6事業：新興感染症対応）の諸事項等が上げられます。当院でも規模機能に応じて具体的な準備を進めているところです。また地域医療の関連では、第8次医療計画で在宅医療の体制に関しても見直しがり盛り込まれていますが、指針に示されているように医療・介護に係る多職種連携を基軸とした地域ぐるみの連携活動が更に必要となります。

医療の領域では制度的改革と並行して各分野で多様かつ急速に進化していく状況にあります。今後も地域拠点病院としての役割を果たすべく取り組んでまいります。

より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

NEW DOCTOR / 新任医師紹介



地域医療連携部長

ふじすえ こういちろう

藤末 昂一郎

循環器内科

常勤医師

学会・資格 日本内科学会認定内科医／日本内科学会総合内科専門医／日本循環器学会循環器専門医／医学博士／日本心臓血管インターベーション治療学会認定医／日本動脈学会専門医／日本動脈硬化学会指導医／身体障害者指定医／指定難病指定医

外来診療予定

毎週 水曜日・木曜日
午前中

message 令和5年4月に赴任しました藤末昂一郎と申します。平成28年の熊本地震後に救急外来応援医師として、平成30年には非常勤医師として阿蘇医療センターで勤務させて頂いたことがありご縁を感じております。阿蘇地域だけではなく、患者さんの高齢化に伴い通院や在宅での自己管理に難渋するケースが増えており、医療・介護・福祉に関わる方との多職種連携がより重要となってきています。私なりに地域医療チームの一員としてお手伝いをさせていただければと思います。そして、高難度手術や超重症例に関しては他院に依頼が必要なこともあります。可能な限り阿蘇地域で完結できるように循環器医療体制の向上ができればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



まつおか じゅんぺい

松岡 隼平

内科

常勤医師

学会・資格 総合診療科
内科一般

外来診療予定

毎週 水曜日・金曜日
午前中

message 令和5年4月から内科常勤医師として働かせて頂きます、医師6年目、松岡隼平と申します。出身は熊本市西区の金峰山の麓で、山は小さい時からの遊び場でした。しかし同じ山でも阿蘇は自分の故郷とはスケールの違いを感じていて、大自然を満喫させてもらっています！まだまだ若輩ですが、総合診療を通じて地域医療の底上げに貢献出来ればと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



やまむら りひと

山村 理仁

脳神経外科

常勤医師

学会・資格 脳神経外科全般／脳神経外科専門医
日本脳神経外科学会／日本脳神経血管内治療学会／日本脳卒中学会／日本脳神経外傷学会／日本脳神経CI学会

外来診療予定

毎週 火曜日・金曜日
午前中

message 令和5年4月から阿蘇医療センターへ赴任した山村理仁と申します。熊本大学卒業、専門は脳神経外科です。学生実習や研修医の地域医療研修でお世話になった病院に赴任することになり、感慨深く思っております。熊本県医師就学資金（地域枠）の卒業生で、熊本市内以外では荒尾、天草に勤務しました。阿蘇地域へ常勤としての勤務は初めてです。これまで甲斐院長先生が脳神経外科と院長の職務を兼任されておりましたが、私が脳神経外科の仕事に加わることで、少しでも負担軽減になればと思っております。従来の診療に加えて、これまでの体制では難しかった検査や治療を始め、診療を拡大したいと考えております。私自身まだまだ未熟者ですが、今後どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科 非常勤医師

とくなが たかゆき

徳永 堯之

熊本大学病院



呼吸器内科 非常勤医師

ふくしま かずあき

福島 一晃

熊本大学病院



皮膚科 非常勤医師

かしわだ かよ

柏田 香代

熊本大学病院



腎臓内科 非常勤医師

とみなが あき

富永 亜希

熊本大学病院

外来診察担当医表 ■一部の専門外来を除いて午前中のみ診療になります。緊急時は救急外来で対応いたします。
■当院は、「予約診療」(原則) です。電話予約の上の来院をお願いします。

一般外来 午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00) 令和5年12月1日現在
午後 受付時間 13:00～16:30 (診療時間 14:00～17:00) (一は休診)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	午前	湯本 信也 平賀 円	平賀 円	湯本 信也 松岡 隼平	平賀 円	湯本 信也 松岡 隼平	—
	午後	—	湯本 信也 (在宅酸素療法外来のみ)	—	—	—	—
脳神経外科	午前	甲斐 豊	山村 理仁	—	甲斐 豊	山村 理仁	—
循環器内科	午前	石田 俊史	石田 俊史	藤末 昂一郎	藤末 昂一郎	中嶋 直也	—
	午後	石田 俊史 (睡眠時無呼吸症候群外来のみ 14:00～16:00 ※1)	—	—	—	—	—
脳神経内科	午前	—	—	*松原崇一朗 ※2	—	—	—
	午後	—	—	*松原崇一朗 ※2	—	—	—
整形外科	午前	坂本 圭	坂本 圭	坂本 圭	*湯上 正樹	—	—
	午後	—	—	—	*湯上 正樹	—	—
リハビリ テーション科	午前	坂本 圭	坂本 圭	坂本 圭	*湯上 正樹	甲斐 豊	—
	午後	—	—	—	*湯上 正樹	—	—
消化器外科	午前	—	岡留 一雄 *近本 亮 (第2水曜の前日)	*近本 亮 (第2水曜を除く)	岡留 一雄	—	—
リウマチ 膠原病内科	午前	—	—	*中村 正 (第4水曜)	—	—	—
	午後	—	—	*中村 正 (第4水曜)	—	—	—
乳腺 内分泌外科	午前	*岩瀬 弘敬 (月2回指定日)	—	—	—	—	—
	午後	*岩瀬 弘敬 (～15:00 月2回指定日)	—	—	—	—	—
糖尿病・代謝 ・内分泌内科	午前	—	—	—	*八木 喜崇	*井形 元維	—
	午後	—	—	—	*八木 喜崇	*井形 元維	—
血液内科	午後	*宮川 寿一 (第2月曜)	—	—	—	—	—
腫瘍内科	午前	—	—	—	*境 健爾 (第2・4木曜)	—	—
	午後	—	—	—	*境 健爾 (第2・4木曜14:30まで)	—	—
消化器内科	午前	*具嶋 亮介 (11:00～)	—	*徳永 堯之 (11:00～)	—	*植原 哲史 (肝疾患)	—
	午後	*具嶋 亮介 (～15:00)	—	*徳永 堯之 (～15:00)	—	*植原 哲史 (肝疾患)	—
呼吸器内科	午前	—	*坂田 晋也 (9:30～)	—	—	*福嶋 一晃	—
耳鼻咽喉科	午前	—	—	—	*熊大病院担当医	—	—
腎臓内科	午前	—	—	—	—	*富永 亜希 (新患11:00～)	—
	午後	—	—	—	—	*富永 亜希 (14:00～15:00)	—
婦人科	午前	—	—	—	—	*片渕 秀隆 (第2・4)	—
	午後	—	—	—	—	*片渕 秀隆 (第2・4)	—
皮膚科	午前	—	—	*栗山 春香	*柏田 香代	—	—
	午後	—	—	*栗山 春香 (～16:00)	*柏田 香代 (～16:00)	—	—
歯科口腔外科	午前	—	高宗 康隆 ※3	高宗 康隆(再診のみ)	—	高宗 康隆 ※3	—
	午後	—	高宗 康隆 ※3	—	—	高宗 康隆 ※3	—
人工透析	午前	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	*富永 亜希	*伊達 亮佑(第1土曜) *藤本 大介(第2土曜) *松永 英士(第3土曜) *栗原 孝成(第4土曜) 湯本 信也(第5土曜)
	午後	—	—	—	—	—	—
総合診療	午前	松岡 隼平	平賀 円	井 清司	山村 理仁	佐土原 道人	—

※ご来院時に患者さんの症状に対応できる診療科の診療が行われていない場合にご案内致します。

小児外来 午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00)
午後 受付時間 13:00～18:00 (診療時間 14:00～18:15)

診療科		月	火	水	木	金
小児科	午前	古川 ちひろ	橋山もしくは古川	橋山 元浩	古川 ちひろ	橋山 元浩
	午後	古川 ちひろ	橋山もしくは古川	橋山 元浩	古川 ちひろ	橋山 元浩
小児科 専門外来	午前	—	—	*上土井 貴子 (第2・4水曜) ※4	—	—
	午後	—	—	*上土井 貴子 (第2・4水曜) ※4	—	—

※1…受付時間 13:00～15:30 (診療時間 14:00～16:00)

※2…予約制です。前日 17:15 までに予約の電話をお願い致します。

※3…予約制です。また、紹介状 (かかりつけの歯科医院等から発行していただく。) をお持ちでない患者さんは受診できません。

※4…原則、小学生までの受入れ。ただし、紹介状が有る場合は中学生まで受入れ。

*は非常勤医師です。

熊本県指定がん診療連携拠点病院としての取り組み

熊本県指定がん診療連携拠点病院として院内各部署が取り組んでいる活動内容について紹介します

がん相談支援センター

『がん相談支援センター』は、がん相談や両立支援コーディネーター等の研修を受けた看護師やソーシャルワーカーがさまざまな不安や悩みについて話を伺い、その人らしい生活や治療の選択ができるように支援しています。

がんの患者さんやご家族をはじめ、地域住民の方、当院に通院したことがない方でも、どなたでも無料でご相談いただけます。相談窓口での対面だけでなく、電話でも相談できます。相談内容に応じて医師や看護師、薬剤師などの専門職が対応しています。

在宅医療サポートセンター

在宅医療サポートセンターは、自宅での療養や介護を希望される方の、病状悪化の不安や公的サービス等に関する相談に応じ情報提供を行っているほか、以下のような活動を行っています。

- ◆訪問診療を行っている医師や訪問看護ステーションの紹介
- ◆退院後の在宅療養の準備（自宅での点滴を行うための調整）

阿蘇におけるがん医療の多様化



栄養管理室

食事が食べられない時の対応について

当院では、患者さんの嗜好対応の他、治療による様々な副作用に対しても患者さんとお話ししながら対応しています。食事の摂取量を調整し、下記のような栄養補助食品も利用しています。

栄養の強化（栄養補助食品の利用）

<当院で使用している栄養補助食品>

ゼリータイプ

甘い物を好む方や嚥下障害のある方

ドリンクタイプ

複数の味があります

緩和ケア(終末期)患者への食事について

通常の食事が食べられない場合に、食べたいものを食べて頂けるよう患者さん自身にお選びいただくセレクトメニューをご用意しています。



歯科口腔外科における専門的口腔ケア

歯科口腔外科は歯科口腔外科疾患と多職種による医歯薬連携を中心とした歯科口腔管理を主軸に診療を行っています。

緩和ケアにおける歯科口腔外科の役割

緩和ケアチーム内では歯科口腔領域の専門職として活動します。特にターミナル期の口腔内の主な特徴としての口腔剥離上皮膜などを除去して口腔環境を改善する専門的口腔ケアの実施および指導的役割を果たしています。

終末期患者さんの口腔トラブル

身体的苦痛 口腔乾燥や口腔内痛、感染症などが挙げられます。

精神的苦痛 味覚異常などで『食べる楽しみ』が徐々に無くなっていき、経口摂取量が低下していきます。

社会的苦痛 口臭、口腔乾燥、痛みにより会話がなくなり、周囲とのコミュニケーションが取れなくなっていくことで、抑うつや疎外感を感じるようになります。

以上のことから、口の中の問題にとどまらず、QOLが大きく低下する要因になっていると言われています。

歯科口腔外科スタッフによる専門的口腔ケアの実際

<終末期の口腔内の状態>

口腔剥離上皮膜が粘膜に強固に付着

↓
放置すると感染症のリスクが増大し、苦痛の悪化、QOLの悪化につながります。



《ケア前》

《ケア後》

外来・病棟看護師（緩和ケアチーム）

多職種で構成する緩和ケアチームが中心となって、患者さんや家族の身体的・精神的苦痛をやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように様々なケアを提供しています。

限りある人生をその人らしく過ごせるように、希望を聴きながら大切にしていることを尊重し日常的なケアに取り込むことを実践しています。

◆痛みのコントロール

つらさや痛みなどの身体と心の状態を自分で知ることが大切です。痛みの評価表を使って患者さんの痛みの程度をできるだけ正確に医療者に伝えていただくようにしています。内服薬や貼付薬、また持続皮下注射などによる痛みの緩和を行います。

◆体のきつさ(倦怠感)を和らげるケア

ポジショニング、リラクセーションマッサージ、内服薬や持続皮下注射での睡眠の確保を行います。

◆本人や家族のこころのケア

患者さんや家族の話を伺った上で、療養環境の整え方、経済的な心配などあれば社会資源の紹介などが相談員と連携して対応します。

◆日常生活全般のケア

食事、排泄、入浴などの援助を行います。希望に応じてホスピスや在宅療養の調整を行います。

薬剤部

薬剤部では、抗がん剤等の薬物指導、薬剤処方に係る担当医師との調整、抗がん剤の無菌調製等のほか、緩和ケアチームとしての活動を行っています。

がんの薬物治療

◆薬剤管理指導(入院・外来)

抗がん剤注射を行う際は、薬剤師が副作用や体調等を伺い、必要時には医師に薬剤の追加提案や用量変更の提案等を行います。

◆抗がん剤無菌調製

薬剤師による抗がん剤の無菌調製は平成28年10月から開始しています。薬剤師が抗がん剤の特性に合わせて、安全かつ正確に無菌調製を行っています。

◆レジメン管理

治療計画(レジメン)の管理を行っています。かかりつけ薬局の薬剤師もレジメンを確認して治療スケジュールを把握できるようにしています。

緩和ケア

抗がん剤治療と共に様々な症状に対処しています。

◆疼痛緩和

痛みに対して、痛みの強さや症状に合わせて鎮痛薬や鎮痛補助薬の調節を行います。

◆各種症状への対処

吐き気や便秘、不眠、倦怠感など、薬剤を使用することによって症状の軽減や改善が得られる場合があります。



リハビリテーション室

当院ではがん患者さんの生活機能と生活の質（QOL）の改善を目的に希望、要望を尊重しながら身体状況に合わせてリハビリを行っています。

◆がん薬物療法・手術前術後のリハビリは全身調整運動

抗がん剤や化学療法では、副作用として食欲低下、倦怠感などがあり、活動性の低下を引き起こします。そのため抗がん剤や化学療法の施行前、もしくは施行中に可能な範囲での体力維持のための運動療法（有酸素運動）を行います。また、手術前後のリハビリは、術後に向けての排痰訓練や呼吸法の指導、術後に早期離床による廃用予防などがあります。

◆緩和ケアや終末期ケアはQOLを大切に

緩和ケアや終末期のケアは、積極的な治療をしなくなった患者さんに余命をいかに自分らしく過ごしてもらうかが焦点となります。

痛みや食欲・体力低下により活動範囲が狭くなった患者さんに対し、身の回りの動作をできるだけ自分で行えるよう支援し、日常で行える自主訓練などを提案します。

退院後の自宅療養を予定している方には、福祉用具の導入や家屋評価などで、退院後もできる限り自立した生活が送れるようサポートを行います。

認知症に関する取組み ～脳活カフェを始めました！～

認知症は年齢とともに罹患するリスクが高まりますが、適切な脳トレを習慣化し、生活習慣を見直すことで、認知症リスクを半減させることができるとされています。当院では、認知症予防のために、脳トレーニングや社交活動の場の提供として、今年5月から「脳活カフェ」を始めました。認知症看護認定看護師やリハビリスタッフによる、認知症予防に効果的なプログラムを提供しています。これまで4回の開催で多数の方が参加され、リラックスした雰囲気の中で、認知症予防に関するミニ講義や認知症予防体操（コグニサイズ）などを一緒に学び、「楽しかった」と好評でした。参加は無料で、どなたでも参加できます。当カフェを通じて、認知症予防に対する意識を高め、阿蘇地域全体で認知症対策に向き合う社会になるよう取り組んでいきます。

11月10日(金)10時～ 認知症予防にいい食事について

1月26日(金)10時～ 認知症とお薬について

予約不要
1日だけ参加も可

参加費：無料

対象者：もの忘れが気になる方（家族や友人と参加も可）



熊本県初の取組み



身体拘束をしないために、「認知症マップ」を使っています。

* 認知症マップとは・・・毛糸で筒状に編まれたものに、色々な触感のアクセサリを付けたもの。認知症の方の触覚刺激で脳を刺激し、安心感を得ることを目的にしている。
(認知症マップの賛同者の方に作成して頂いています)

在宅医療サポートセンターの取組み

当院は、地域在宅医療サポートセンター（基幹型）の指定を受け、在宅医療に関する多職種研修の企画や情報提供、連携の調整等を行っております。阿蘇中部をはじめ、各地域と情報交換を行い事業展開に活かすよう取り組んでいます。

今年度は、阿蘇医療介護システム研究会、阿蘇市・産山村と合同で、阿蘇中部地域版エンディングノート「あなたの想いに寄りそうノート」が完成しました。

人生を見つめ直し、もしもの時の介護や医療について前もって考え、何度書き換えてもよいノートとなっております。地域のサロンリーダーのみな様への出前講座など、普及啓発を行っていきます。



研修会予定

令和6年1月25日 地域サロンリーダーエンディングノート研修会講演
(阿蘇市地域包括支援センター主催)

※研修内容等のご希望がございましたら、下記までご相談ください。

熊本県知事賞を受賞

令和5年2月7日（火）熊本県医師会にて「医療と介護の連携による自立支援研修会・発表会」が開催され、高齢者の自立支援に繋がる取組みについての事例発表において、阿蘇医療センター地域在宅医療サポートセンターが、熊本県知事賞を受賞しました。

在宅医療に関する相談窓口

ケアマネジャーや訪問看護/訪問介護といった、サービス提供者からの相談、情報提供、環境整備などの相談に対応しております。

ACP/終末期医療について

阿蘇在宅医療システム研究会と協働して、阿蘇中部地域に向けたエンディングノートの普及啓発に取り組み中です。

介護職員等 医療的ケア研修受講希望者募集

施設や訪問介護にお勤めの介護職員を対象に、喀痰吸引等医療的ケアに関する講習会を企画実施しております。

連絡先

阿蘇中部地域在宅医療サポートセンター
(阿蘇医療センター内)

TEL: 0967-34-0311 FAX: 0967-34-2273

出前講座 ～一次救命処置講習会及び熱中症対策～

令和5年6月13日と15日に阿蘇市内の民間企業職員計24名を対象に出前講座【一次救命処置講習会及び熱中症対策】を開催しました。本院の看護師による熱中症対策の講義の後、BLSインストラクターによるマネキン、AEDを用いて実技による講習会・指導が行われました。



お知らせ

当院では、新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種感染症の院内感染防止のため面会制限をしています。詳細は病院にお問い合わせください。

なお、入院患者さんの洗濯物等の荷物受け渡しに限って、短時間（10分程度）でお一人様のみの病棟への入館を許可しています。（検温のうえ発熱のある場合はお断りしています。入館時はマスクの着用にご協力お願いいたします。）

	時 間	出 入 口
平 日	13:00 ～ 18:00	西側正面玄関
	18:00 ～ 19:00	北側夜間時間外受付
土日祝日	13:00 ～ 19:00	北側夜間時間外受付

上記時間帯以外の荷物の受け渡しや長時間の滞在は、患者さんの安静、診療及びケアの都合上ご遠慮ください。
※今後の新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種感染症の拡大状況により、変更する場合がございます。

診療予約・変更・お問い合わせ

- 外来予約センターにお電話頂き予約や変更等についてのお問い合わせください

外来予約センター ☎ 0967-34-0319
(平日 8:30～17:15)

- その他、診療や連携に関する各種お問い合わせや、相談は地域医療連携室へご連絡ください。

地域医療連携室 ☎ 0967-34-0463
(平日 8:30～17:15)

今月の表紙

医局での1枚です（4月撮影）。

写真左後ろから、橋山元浩医師、平賀円医師、田尻拓哉医師、石田俊史医師、高宗康隆歯科医師、古川ちひろ医師、坂本圭医師
写真左前から、松村光太郎医師、山村理仁医師、藤末昂一郎医師、甲斐豊院長、湯本信也副院長、松岡隼平医師



阿蘇医療センター

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川 1266
TEL 0967-34-0311 (代表) FAX 0967-34-2273
<https://www.aso-mc.jp>



スマートフォン等にてバーコード読み取りでホームページ閲覧ができます